

原油市場展望

2022年10月

 株式会社 日本総合研究所

調査部 マクロ経済研究センター

<https://www.jri.co.jp/report/medium/oil/>

◆本資料は2022年10月4日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆ご照会先：調査部 副主任研究員 松田健太郎 (Tel:080-4176-4439 Mail:matsuda.kentaro@jri.co.jp)

◆日本総研・調査部の「経済・政策情報メールマガジン」は下記URLから登録できます(右側QRコードからもアクセスできます)。新着レポートの概要のほか、最新の経済指標・イベントなどに対するコメントや研究員のコラムなどを随時お届け致します。

<https://www.jri.co.jp/company/business/research/mailmagazine/form/>

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。

<メルマガ> <Twitter>

経済・政策情報メールマガジン



経済・政策情報メールマガジン

日本総研調査部Twitter 日本



日本総研調査部Twitter 日本

原油価格見通し：80ドル台を中心とした展開に

◆現状：1月以来の水準へ下落

9月のWTI原油先物価格は、月前半に、①OPECプラスによる減産、②米国の戦略石油備蓄の減少、③イラン核合意再建協議の難航などから、一時90ドル台へ上昇。

その後、主要先進国の金融引き締めによる景気後退への懸念や、英国の経済政策を巡る金融市場の混乱を受けて、70ドル台後半へ下落。月末にかけて、米国のハリケーン襲来に伴う供給障害への懸念や米国ガソリン在庫の減少などから80ドル前後へ反発。

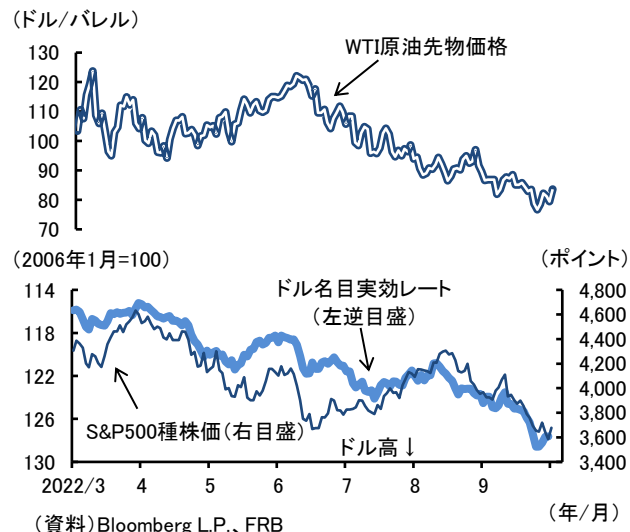
◆投機筋の買い越し幅は横ばい

投機筋の原油先物の買い越し幅は横ばい。需要・供給双方の不透明感が強く、方向感を見極めにくい展開。

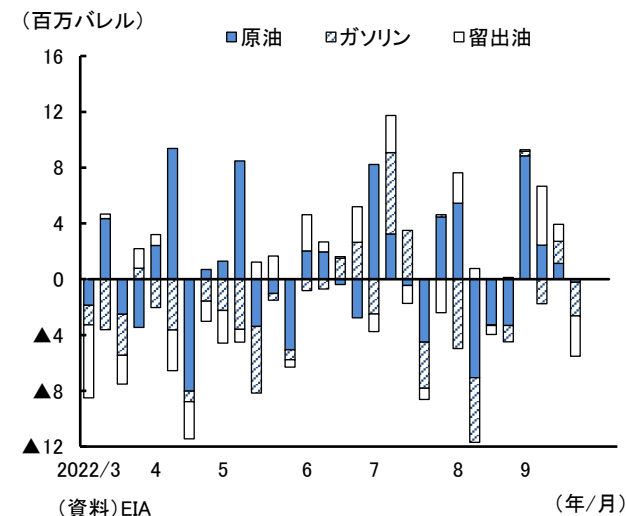
◆見通し：横ばい圏の動き

先行きを展望すると、原油価格は振れを伴いながらも80ドル台を中心とした推移が続く見通し。当面は、主要国の金融引き締めにより世界景気が減速するとの懸念が強く、原油需要の減少が意識されやすい状況。ただし、①主要産油国の増産ペースは緩やかにとどまること、②ロシア産原油の供給を巡る不透明感が根強いこと、などから供給面の不安も残存。価格上昇・下落双方の思惑が交錯しやすい地合いが続く見込み。

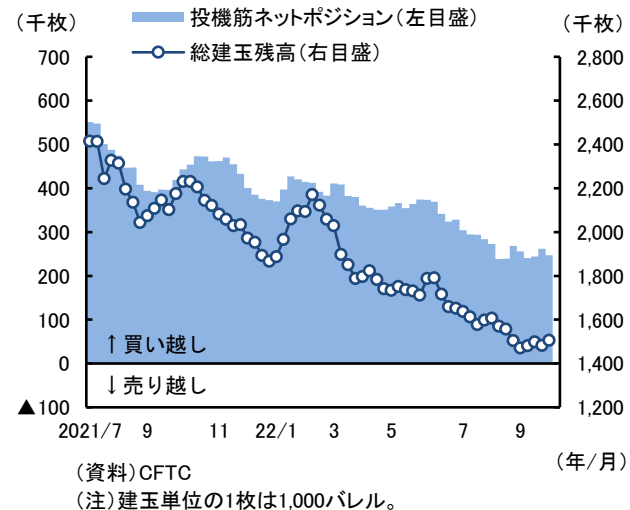
原油価格と株価・為替レート



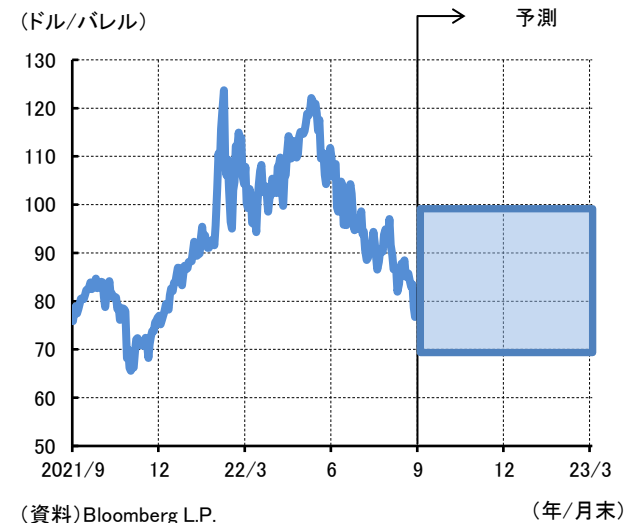
米国の原油・石油製品在庫(前週差)



WTI原油先物ポジション



WTI原油先物価格見通し



トピック：供給不足への懸念はなおも強く

◆OPECプラス減産姿勢に転換

OPECプラスは、9月5日の会合で10月の原油生産量を日量10万バレル減産することで合意し、これまでの増産方針を転換。この背景には、世界的なエネルギー需要の減少見通しが指摘可能。米欧では中央銀行の利上げが景気を抑制しつつあるほか、中国ではゼロコロナ政策が景気の重石に。

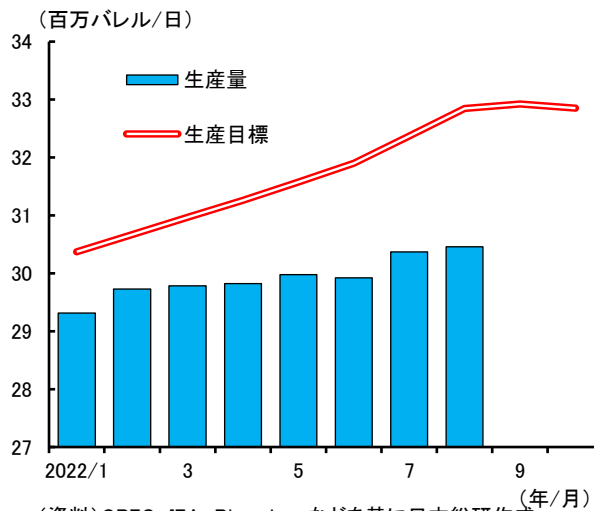
OPECプラスの原油生産量は目標を200万バレル近く下回っており、今後生産目標を引き下げても実際の供給量はそれほど減少しないとの見方も。もっとも、サウジアラビアやイラクなどの主要産油国では、生産目標の達成率が高く、目標引き下げに伴い供給量が相応に減少する見込み。

◆原油の供給不足への懸念は残存

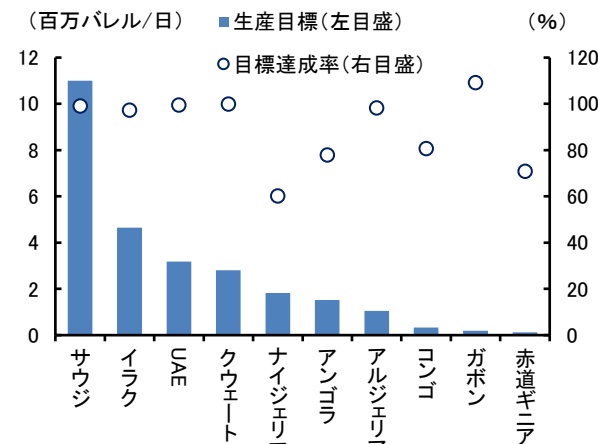
OPECプラスの減産以外でも、供給不足の懸念は残存。10月に米国の大規模な戦略備蓄放出が終了予定。加えて、年末にかけてEUによるロシア産原油の禁輸も本格化するため、同国の原油生産を巡る不透明感は大。原油供給を巡る観測に価格形成が左右される状況が続く公算大。

加えて、供給不足が在庫の復元を阻害する可能性も。OECD加盟国の原油・石油製品在庫は依然として2015～19年の過去平均を大きく下回る水準。22年入り後の増加分は、概ね米国の備蓄放出量見合いにとどまる状況。低位な在庫水準が価格の上昇要因となる可能性あり。

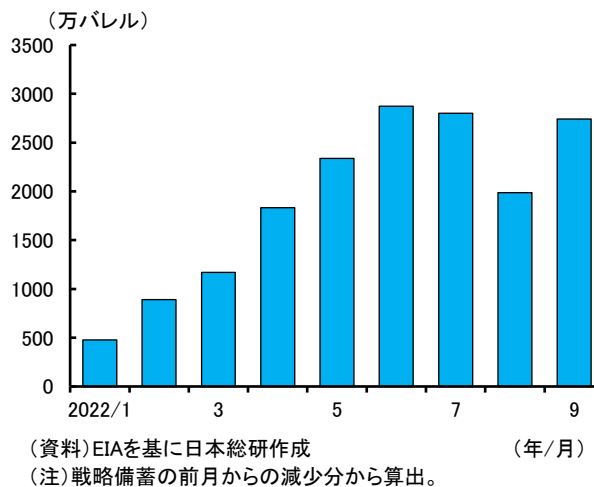
OPECプラス(ロシア除く)生産目標と生産量



OPEC加盟国の原油生産目標と達成率



米国の戦略石油備蓄の放出



OECD加盟国の原油・石油製品の商業用在庫

